



海外旅行を楽しむために 出発前の感染症対策を

平成 30 年 7 月 18 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 30 年第 28 週分・7 月 9 日～7 月 15 日)

《 インフォメーション 》

●海外で注意すべき感染症

この夏、長期休暇を利用して海外に行かれる方も多いと思われます。楽しい思い出にするためにも、海外で感染症にかからないよう気をつけることも重要です。必要なワクチン接種をあらかじめ受けておくなど、**出発前に感染予防の方法を今一度ご確認ください。**

注意すべき感染症は渡航先によって異なります。最も感染の可能性が高いのは消化器系の感染症（A 型肝炎、E 型肝炎、コレラ、赤痢、腸チフスなど）であり、発展途上国など公衆衛生の整備が不十分な地域へ行く際は注意が必要です。**十分に加熱処理がされていない物（水、氷、サラダ、生鮮魚介類等）の飲食は避けましょう。**

海外では、麻しんや風しんが流行している地域があります。流行地で、麻しんや風しんに罹患し、国内に持ち込まれるケースが増えています。国内にウイルスを持ち込まないためには、**渡航前にワクチンを接種**しておくことが重要となります。

東南アジア、南米、アフリカなどの熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症（デング熱、マラリア、チクングニア熱、ジカウイルス感染症、黄熱など）が流行しています。これらの感染症は、現在日本国内では流行していませんが、海外で感染して帰国後に発症する症例が報告されています（表参照）。流行地へ旅行する際は、**長袖・長ズボンを着用し、虫除けスプレーを利用**するなどして蚊に刺されないように注意しましょう。

蚊が媒介する主な感染症の報告状況(全国)

	診断年(平成)					
	25	26	27	28	29	30*
デング熱	249	340	292	338	245	62
マラリア	48	60	41	54	61	23
チクングニア熱	13	16	17	13	5	1
ジカウイルス感染症	H28年から報告対象			12	5	0

※第27週(7/2～7/8)現在

また、動物を介して人に重篤な症状を起こす、動物由来感染症(中東呼吸器症候群(MERS)、狂犬病、鳥インフルエンザなど)もあります。**むやみに動物に触れるのは止めましょう。**

帰国後に症状が出た方は、医療機関を受診する前に、あらかじめ電話で症状と渡航歴を伝え、医療機関の指示に従って下さい。

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 6件 (①20歳代、男性 ②20歳代、女性 ③30歳代、男性
④50歳代、男性 ⑤80歳代、男性 ⑥80歳代、女性)

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 6件 (①第27週診断分：20歳代、女性、O26、VT1
②10歳代、男性、O26、VT型不明 ③30歳代、男性、O157、VT1VT2
④⑤ともに50歳代、女性、O157、VT1VT2 ⑥50歳代、男性、O157、VT1VT2)

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件 (①80歳代、男性 ②80歳代、女性)
侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (60歳代、女性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1位	感染性胃腸炎	5.55	4.34	↑
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.48	1.21	↑
3位	突発性発しん	0.66	0.34	↑
4位	咽頭結膜熱	0.48	0.55	↓
5位	R S ウイルス感染症	0.41	0.38	↑
	ヘルパンギーナ	0.41	0.24	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第28週 平成30年7月9日～平成30年7月15日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1	1			4	6	6	9	30	10	48	103
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	1			2	5	2	1	2	1	8	14
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症							1	1	4	2	17	25
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症				2		2			3		5	8
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1				1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							4		5	2	3	14
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症			1			1	2	2	6	4	12	26
	水痘（入院例）							1		1		1	3
	梅毒									1		6	7
	播種性クリプトコックス症											3	3
	百日咳											1	1
	風しん										1		1
定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	2				4	6	2,232	1,824	3,485	2,441	5,342	15,324
		0.29				0.25	0.13						
	RSウイルス感染症	1		1		10	12	36	20	55	24	238	373
		0.25		0.13		1.00	0.41						
	咽頭結膜熱	6	2	4	1	1	14	159	54	225	24	256	718
		1.50	0.67	0.50	0.25	0.10	0.48						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3		14	6	20	43	114	85	448	200	573	1,420
		0.75		1.75	1.50	2.00	1.48						
	感染性胃腸炎	31	20	47	2	61	161	758	562	863	175	2,085	4,443
		7.75	6.67	5.88	0.50	6.10	5.55						
	水痘	1					1	13	5	87	48	83	236
		0.25					0.03						
	手足口病			3	1	1	5	1	10	25	13	102	151
				0.38	0.25	0.10	0.17						
	伝染性紅斑			1	2	3	6	3	1	82	40	27	153
				0.13	0.50	0.30	0.21						
	突発性発しん	2	4	9	1	3	19	41	32	125	34	91	323
		0.50	1.33	1.13	0.25	0.30	0.66						
	ヘルパンギーナ	1	2	5		4	12	3	13	8	1	10	35
		0.25	0.67	0.63		0.40	0.41						
	流行性耳下腺炎					2	2	3	5	14	3	23	48
						0.20	0.07						
	急性出血性結膜炎										13		13
流行性角結膜炎				1		1	2	11	4	2	4	23	
				1.00		0.14							
細菌性髄膜炎											5	5	
マイコプラズマ肺炎							2	2	5	4	7	20	
クラミジア肺炎										1	2	3	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		4	2	7	16	
インフルエンザによる入院患者（*）							51	55	39	150	96	391	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年6月分）

		6月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症					9	9		2	7		49	58
						2.25	0.90						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1				1		4	2		8	14
			1.00				0.10						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	尖圭コンジローマ				1	3	4			1	8	9	18
						1.00	0.75	0.40					
	淋菌感染症					1	1			1		9	10
						0.25	0.10						
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	1	1	1	1	6	9	10	8	15	26	68
		2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.20						
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								2		12	2	5	21

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。